

## 森林整備革新的取組支援事業の概要

本事業は、平成18年度から平成22年度にかけての、人工林施業の抜本的なコストダウンに資すると認められる施業技術の試行的実施を図る取組への支援を目的とした補助事業であり、公募による選定の結果、全国森林組合連合会が実施、とりまとめを行いました。5年間で109事例の試行的取組が実施され、その内訳は、森林組合系統が64件、林業事業体が42件、森林所有者が3件であり、間伐を中心とする内容が74件(約7割)を占めています。帯状伐採や群状択伐等を含めると伐採を伴う事例は87件となり、その伐採・搬出工程の生産性・コストを見てみますと、5年間平均で従来に比べ生産性が85%向上、コストが25%削減、という結果が得られました。

以下にその内訳を示します。

表－1 平成18年度～22年度の事例内訳

取組年度	主な取組内容				事業実施主体の所属			事例数
	間伐	路網開設	伐採+造林	造林	森林組合系統	林業事業体	森林所有者	
18年度	31	2	1	1	21	13	1	35事例
19年度	23	1	4	6	22	10	2	34事例
20年度	11	0	6	3	11	9	0	20事例
21年度	4	0	2	4	6	4	0	10事例
22年度	5	0	0	5	4	6	0	10事例
計	74	3	13	19	64	42	3	109事例

※1. 「路網開設」事例は、路網開設のみ行っている場合に計上。間伐とセットで実施した場合は「間伐」事例に計上。

※2. 「伐採+造林」事例は、帯状伐採、群状択伐や小面積皆伐後に植栽をセットで行った事例。

表－2 伐採・搬出工程の生産性・コストの平均値推移

取組年度	生産性		生産性向上率	コスト		コストダウン率
	従来型	革新型		従来型	革新型	
18年度	2.5m <sup>3</sup> /人日	4.5m <sup>3</sup> /人日	78%	9,188円/m <sup>3</sup>	6,306円/m <sup>3</sup>	31%
19年度	2.4m <sup>3</sup> /人日	4.4m <sup>3</sup> /人日	87%	9,564円/m <sup>3</sup>	7,559円/m <sup>3</sup>	21%
20年度	3.5m <sup>3</sup> /人日	5.8m <sup>3</sup> /人日	67%	8,458円/m <sup>3</sup>	7,192円/m <sup>3</sup>	15%
21年度	2.4m <sup>3</sup> /人日	5.0m <sup>3</sup> /人日	109%	9,915円/m <sup>3</sup>	6,990円/m <sup>3</sup>	30%
22年度	2.3m <sup>3</sup> /人日	6.3m <sup>3</sup> /人日	178%	9,808円/m <sup>3</sup>	5,962円/m <sup>3</sup>	39%
計	2.6m <sup>3</sup> /人日	4.9m <sup>3</sup> /人日	85%	9,245円/m <sup>3</sup>	6,895円/m <sup>3</sup>	25%

※1. 「路網開設」事例は一時的な集材路ではなく、何度も利用する壊れにくい丈夫な作業道をいかに低コストで開設するかという内容が多く、一時的な集材路と比較しづらいこと、また、「造林」事例は無下刈など事業実績ではなく、将来的な予測に基づく推計が含まれることから、上記表の数値は、「間伐」事例及び「伐採+造林」事例のみの平均値を計上しております。